城望む景観も魅力　大垣市役所の食堂口コミで人気

岐阜新聞　web 版　　2020 年 02 月 16 日 08:10

大垣城を望む８階からの眺め＝いずれも大垣市役所（左）
職員をはじめ、市民らでにぎわう食堂（右）

旧店舗から引き続き掲げる看板

•

岐阜県大垣市役所の新庁舎がオープンして１カ月余り。８階に開店した食堂が、職員だけでなく、口コミで広がる評判を聞いた市民らでにぎわっている。

職員でつくる互助会組織「市役所職員等共済会」が、いろは珈琲（同市御殿町）に運営を委託。同社は１５年営業した「珈琲館楠木」（同市西長町）を移転、「キッチン楠木」として開店させた。食券販売機のそばには、旧店舗から引き継ぐ看板を掲げる。

営業時間は開庁日の午前８時３０分から午後３時までで、コーヒー付きの日替わりランチ（６５０円）をはじめとするランチメニューのほか、モーニングメニューも充実。最上階とあって、大垣城などを望む景色も味わえる。

趣味仲間７人で訪れた男性（７９）＝同市浅草＝は「ボリュームもあって、おいしい。家族や友人にも薦め、また来たい」。夫婦で足を運んだ女性（７３）＝垂井町＝は「知り合いから聞いてきた。気軽に利用できていい」と満足そう。

客席は約１００席だが、ランチは約２００食の利用があるといい、大橋祐七社長（５５）は「好評をいただき、大変ありがたい。お客さまをお待たせすることもあり申し訳ないが、食品衛生を第一にバランスの取れたメニューを楽しんでもらえるようスタッフ一同、頑張っていく」と話す。

https://www.gifu-np.co.jp/news/20200216/20200216-215695.html